

令和7年度

生徒募集中

100年先の風景をつくるう
もり

Kita Mori College

就職率
100%

(年間)
約140万円
の支援を受けながら
16の資格を
取得可能!



第3回入学試験日程

第3回 一般選考(旭川・札幌)

出願期間	令和7年 2月27日(木)~3月14日(金)
実施日	令和7年 3月21日(金)
合格発表	令和7年 3月25日(火)

第3回 社会人選考(オンライン)

出願期間	令和7年 2月27日(木)~3月14日(金)
実施日	令和7年 3月21日(金)
合格発表	令和7年 3月25日(火)

詳細情報はWebサイトをご覧いただきか
直接お問い合わせください。



お問い合わせ TEL.0166-75-6163  WEBサイト

mail. kitamori.kyomu@pref.hokkaido.lg.jp <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/kms/> 北至カレッジ 検索



Hokkaido College of Northern Forestry

北海道立北の森づくり専門学院

北海道認可の専修学校 TEL 078-8381 北海道旭川市西神楽1丁目10号 [JR富良野線(西瑞穂駅)徒歩約8分]



学院概要

教育方針

学びのフィールドは自然豊かな北海道の大地 北森カレッジで「山」「森」「木」のスペシャリストに

北海道の豊かな生態系をはぐくむ森林を守り育て、将来の世代に引き継いでいく「100年先を見据えた森林づくり」を推進するという理念のもと、林業・木材産業の幅広い知識と確かな技術を身に付け、将来的に企業等の中核を担う地

域に根差した人材を育成します。

林業・木材産業の盛んな旭川市にキャンパスを設け、地域や産学官と連携したオール北海道の体制により道内各地域の特徴ある森林を活用し、実践的な教育を行います。



即戦力となる人材

就業後すぐに現場で活かせる能力を身に付ける

- 基本的な現場作業を安全かつ的確に行う技術
- 森林・林業・木材産業に関する幅広い基礎知識
- 就業後に必要な資格とコミュニケーション能力

企業等の中核を担う人材

将来必要となる能力の基礎を身に付ける

- 現場の統括管理や労働安全衛生などの指導能力
- 生産性向上など企業の経営マネジメント能力
- 森林や林業、木材産業等の魅力を発信する能力
- 対話や情報分析を通じ地域の活性化などに貢献する能力

カリキュラムの特徴

階段的なカリキュラム

②基礎・反復定着

入学 ①体験・理解

森林・林業・木材産業の基礎知識、現場における作業技術などの基礎を習得

- 林業・木材産業の理解に必要な一般教養や基礎知識の習得
- 現場の基本作業を身に付けるための基礎実習
- 機械操作などに必要な各種資格等の取得

1年次

北森カレッジについて

林業・木材産業に関する一定の知識と主体的に学ぶ態度を有し、本道の森林づくりへの意欲に溢れた多様な人材を広く道内外から募集します。

専門課程	林業・木材産業学科
募集定員	40名
修学期間	2年間
卒業時に付与される称号	専門士[農業専門課程(林業・木材産業)]
出願資格	道内の林業・木材産業企業等への就業を希望する、次の要件に該当する者 ・高等学校の卒業者又は同等以上の学力を有すると知事が認めた者 ・入学する年の4月1日現在で40歳以下の者
学費等	入学検定料 4,220円※ 入学料 10,810円※ 授業料 年間16万3,200円※ その他 資格取得、防護服等被服、損害保険等で85万円程度 この他に教材、実習旅費等の実費が必要

入学試験については、北の森づくり専門学院ホームページの「学生募集要項」でご確認ください。※金額は変更する場合があります。



在校生
VOICE

理想の将来像に向かって成長中

高校時代に林業に携わる若者をテーマにした映画を観て刺激を受け、進路を考えた際に「森の中でチェーンソーを使い木を切り倒している」自分の姿が浮かび入学しました。現場で技術を学ぶ実習が多く、イメージしていた将来像に向かって前進している実感があります。様々な資格取得に向けサポートが充実している点もポイント。学校のカリキュラムをしっかりとこなしていれば、林業を仕事としていく上で必要な資格取得へ導かれていくシステムが整っています。

星 勇輔さん
(北海道豊富町出身)



在校生
VOICE

「林業女子」として輝くために

「ここは自分を成長させてくれる場所だな」と日々感じています。先生方の教え方は上手ですし、わからないことを何度も聞いてもらいたいときに説明してくれるので、教室でも森の中でも質問攻めかもしれません(笑)。実習でチェーンソーを扱う機会がありますが、体力的に問題はありませんし、反復練習により技術の向上に努めています。同学年の女子は私を含めて4人。卒業後は「林業女子」として、北海道の森の中で木と関わる仕事をしていきたいと考えています。